

# Factors responsible for elevated plasma B-type natriuretic peptide levels in severe aortic stenosis: Comparison between elderly and younger patients

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2016-02-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐々木, 俊輔 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001942">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001942</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2366 号

Factors responsible for elevated plasma B-type natriuretic peptide levels in severe aortic stenosis: Comparison between elderly and younger patients

(高度大動脈弁狭窄症患者における血漿 B 型ナトリウム利尿ペプチド濃度上昇の規定因子について：高齢者と若年者での比較)

佐々木 俊輔 (ささき しゅんすけ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、高度大動脈弁狭窄症の患者において、高齢者と若年者の 2 群間で血漿 B 型ナトリウム利尿ペプチド (BNP) 濃度の上昇の規定因子や解釈の仕方の違いについて、初めて検討し明らかにした臨床的に意義ある論文である。

大動脈弁狭窄症患者において、BNP 値の上昇は予後予測因子であり、リスクの層別化に役立つ指標であると報告されている。一方、年齢と共に左室の拡張機能が低下するため BNP 値が上昇する、という可能性も指摘されており、大動脈弁狭窄症患者において BNP 値を規定する因子の検討が必要とされていた背景がある。

今回、高度大動脈弁狭窄症患者を 75 歳以上 (高齢者 201 人) と 75 歳未満 (若年者 140 人) の 2 群に分類して検討し、両群は同様の大動脈弁狭窄の重症度であったにも関わらず、BNP 値は若年者群に比べ高齢者群で高値を示し、年齢が高いほど BNP 値も高いという結果であった。

また、高齢者群における BNP 値上昇の規定因子には、若年者群において規定因子の一つであった大動脈弁狭窄症の重症度が含まれず、高齢者群では大動脈弁狭窄の重症度が高度であるほど BNP 値が上昇するとは必ずしも限らず、左室の拡張機能のようなそれ以外の因子によって規定されている、という結果となった。したがって、高度大動脈弁狭窄症患者において BNP 値は一概にその重症度を反映したものではなく、年齢や左室の拡張機能低下なども反映した値として解釈する必要性が示唆された、というところに本論文の価値が見出される。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。